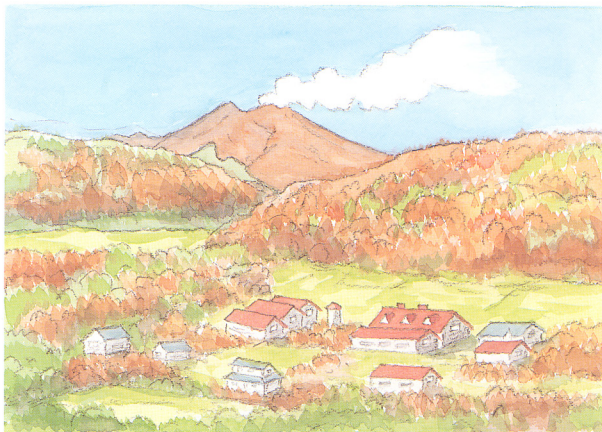


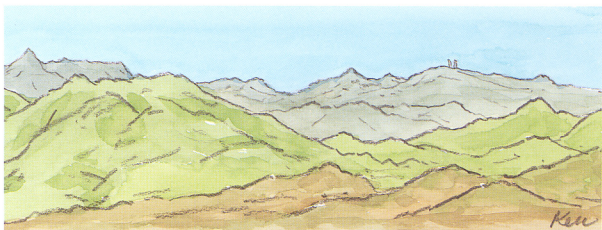
神津俣祐先生の故郷を訪ねて

信州志賀にある神津俣祐先生の故郷を訪ねる旅に出た。新第三紀の火山岩からなる上信国境の山々は、折からの紅葉に彩られ、燃え立つように美しかった。それらをスケッチブックに収めた。詳しくは本文43-48頁参照

八木健三



1. 神津牧場と淡間山。神津牧場は1887年に神津家によって開設された我が国最初の洋式牧場である。



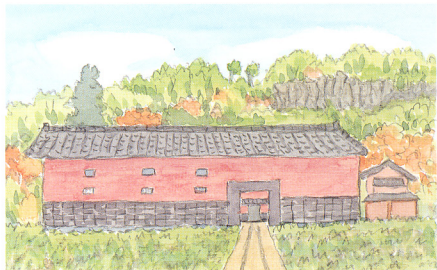
2. 上信国境の山々。被爆の山は、左から笠船山(1423m)、熊倉峰(1234m)、物見山(1375m)、妙義山中之岳神社付近から。



3. 紫船山北面の大断崖。



4. 妙義山金洞山の岩峰群。



5. 神津先生の生家入口にある長屋門。柱状節理の明瞭な背景の崖は志賀溶結凝灰岩。